

表VI-1 清掃工場一覧<施設管理部施設課> 令和4年4月現在

工場名	所在地	工期		建設費 (百万円) ※1	形式 ※2	設計最高発熱量 (kJ/kg)	規模 (トン×炉数)	焼却能力 (トン/日)	余熱利用		原単位 (億円/焼却能力 t)
		着工年月	竣工年月						発電出力(kW)	給熱 ※4	
有明	江東区有明2-3-10	平3.4	平7.12	41,695	A 三菱重工 マルチン式	14,200	200×2	400	5,600	蒸気高温水	1.042
千歳	世田谷区八幡山2-7-1	平3.12	平8.3	27,311	A 川崎重工 サン型	12,100	600×1	600	10,000	高温水	0.455
墨田	墨田区東墨田1-10-23	平6.7	平10.1	33,388	A 日立造船 デ・ロール式	13,000	600×1	600	13,000	高温水	0.556
北	北区志茂1-2-36	平5.4	平10.3	33,565	A 三菱重工 マルチン式	12,100	600×1	600	11,500	高温水	0.559
新江東	江東区夢の島3-1-1	平6.7	平10.9	88,193	A タクマ HN型	13,400	600×3	1,800	50,000	蒸気高温水	0.490
港	港区港南5-7-1	平7.3	平11.1	44,570	A 三菱重工 マルチン式	13,400	300×3	900	22,000	-	0.495
豊島	豊島区上池袋2-5-1	平7.9	平11.6	16,977	B IHI 散気管式	13,400	200×2	400	7,800	高温水	0.424
渋谷	渋谷区東1-35-1	平10.4	平13.7	13,310	B 荏原 旋回流型	13,400	200×1	200	4,200	-	0.666
中央	中央区晴海5-2-1	平10.4	平13.7	29,400	A 日立造船 デ・ロール式	13,400	300×2	600	15,000	蒸気	0.490
板橋	板橋区高島平9-48-1	平11.12	平14.11	29,828	A 住友重機械 W+E式	12,100	300×2	600	13,200	高温水	0.497
多摩川	大田区下丸子2-33-1	平12.3	平15.6	15,599	A IHI 回転ストーカ式	12,100	150×2	300	6,400	高温水	0.520
足立	足立区西保木間4-7-1	平11.12	平17.3	28,651	A 荏原 H P C C型	12,100	350×2	700	16,200	高温水	0.409
品川	品川区八潮1-4-1	平14.9	平18.3	27,500	A 日立造船 デ・ロール式	12,100	300×2	600	15,000	高温水	0.458
葛飾	葛飾区水元1-20-1	平15.6	平18.12	15,770	A タクマ SN型	12,100	250×2	500	13,500	高温水	0.315
世田谷	世田谷区大蔵1-1-1	平16.7	平20.3	16,685	C 川崎重工 流動床式	12,100	150×2	300	6,750	蒸気	0.556
大田	大田区京浜島3-6-1	平22.6	平26.9	18,797	A タクマ SNF型	14,800	300×2	600	22,800	-	0.313
		昭62.7	平2.3	19,800	A タクマ HN型	12,600	200×3	600	9,000	-	0.330
練馬	練馬区谷原6-10-11	平22.12	平27.11	18,908	A JFE ハイパー21ストーカ	14,300	250×2	500	18,700	高温水	0.378
杉並	杉並区高井戸東3-7-6	平24.9	平29.9	28,355	A 日立造船 デ・ロール式	14,300	300×2	600	24,200	温水	0.473
光が丘	練馬区光が丘5-3-1	平28.6	令3.3	34,977	A タクマ SNF型	13,500	150×2	300	9,150	蒸気温水	1.166
目黒	目黒区三田2-19-43	平29.6	令5.3	54,554	A JFE ハイパー21ストーカ	13,500	300×2	600	21,500	高温水	0.909
新・北 ※6	北区志茂1-2-36		令12.2	55,200	A MHIEC V型ストーカ		300×2	600			0.920

※1 建設費は主体工事に要した経費である。大田清掃工場第一工場の再稼働に係る経費は含まない。

※2 焼却炉の分類は次のとおりである。 A：火格子(ストーカ)式焼却炉(全連続燃焼式) B：流動床式焼却炉(全連続燃焼式) C：ガス化溶融炉(全連続運転式)

※3 年間焼却能力は、焼却能力(トン/日)に計画年間稼働日数(283日)を乗じて算出している。

※4 給熱欄の高温水・温水は、給熱媒体として循環使用している。

※5 大田清掃工場第一工場(平成26年に休止)は、1炉目を令和3年3月に再稼働した。また、残りの2炉を令和4年度までに整備する予定である。

※6 一部予定を含む 建設費には、既存設備の解体・撤去を含む